

令和5年度 社会教育事業評価(中間報告)

資料 - 1

【第五次総合計画上の区分】
第3章 未来を創る子どもの育成
I 学校・家庭・地域の協働
1 協働体制の構築

[評価等の凡例] 【実績】 A-成果があった B-少し成果があった C-あまり成果がなかった D-まったく成果がなかった
【中間】 ○-事業継続中 △-事業実施予定 --事業中止

区分	No.	事業名等	内容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率					
2 地域とともにある学校づくりの推進	1	地域学校協働本部事業(子どもを育てる地域の連携促進事業)	(対象)	町内三小学校・中学校	事業計画数(回)	128	109	85	延べ参加サポーター数(人)	2,000	951		○	コロナの影響が続いており、参加サポーターの数がコロナ前の水準に戻らない状況である。	サポーターの数を増やすより、活動の充実や喜び、楽しさを目標にして協働活動を実施する。		
			(目的・内容)	(目的)幅広い町民・諸団体の参画によって、「地域全体」で子供たちの学びを支えと共に、「学校を核とした地域づくり」を目指す。 (内容)学校支援ボランティアを調整し、学校の要請により、学校支援活動を実施する。地域住民の発案による協働活動を具体化し、推進する。													
			(予算科目)	公民館費													
			(主な経費)	報償費2,479千円 消耗品費48千円 賄費42千円													

IV 安心して子育てできる町
1 多様な保育ニーズへの対応

3 幼児教育の充実 V31	2	幼児鑑賞事業	(対象)	こども園の4歳～5歳児	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	55	135	100	A	文化の振興、文化体験の機会提供に資するものである。	各園と連携しながら、引き続き実施していく。	令和5年11月28日(火) 『みにくいあひるのこ』 せいろう幼稚園 54人 はじめこども園 45人 ハーモニーこども園 36人	
			(目的・内容)	舞台芸術の鑑賞機会を提供し、こどもの情操教育に資することを目的とし、演目の選定は町内こども園と協議の上決定した。(対象者)4年度から民間こども園に案内し、希望したこども園が参加した。													
			(予算科目)	文化会館費													
			(主な経費)	自主事業費(公演料1,386千円)													
3 幼児教育の充実 V31	3	家庭教育事業「子育て講座」	(対象)	小中学校の次年度新入学児童・生徒の保護者	周知回数(回)	4	3	75	参加者満足度(%)	80	96	120	A	子育て講座の開催によって保護者同士の交流、情報交換の場とすることができた。また、講座内容も次年度新入学児童・生徒の保護者が抱える不安を軽減させるために役立つものであった。	保護者同士の交流、情報交換のための貴重な場であるため継続していきたい。	[開催実績] ・亀代小学校 令和5年9月13日 46人 ・山倉小学校 令和5年9月19日 59人 ・連野小学校 令和5年9月26日 39人 ・聖籠中学校 令和5年12月15日 138人(予定)	
			(目的・内容)	(目的)家庭の教育力の向上 (内容)学校の協力を得て、各校の就学時検診、入学説明会時に学校を会場として家庭教育に関する講師を派遣する。開催時期は9～12月。講師は学校と協議の上選定する。													
			(予算科目)	公民館費													
			(主な経費)	委託料(保育ルーム)8千円 講師謝礼44千円													

V 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
				指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1.生涯学習の推進	4	町民怪館きもだめし	(対象) 町民 (目的・内容) 夏の思い出作り。今まで町民会館に縁のなかった方についても足を運んでもらう。 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 消耗品95千円、謝礼36千円、食料費36千円	講座開催回数(回)	1	1	100	参加者満足度(%)	80	98	123	A	定員以上の参加があり抽選を行った。アンケートでも楽しかった、怖かった等の満足度は高かった。	人気の事業であったことから、次年度も継続して行いたい。	開催日:8月19日(土) 37組140名参加
1.生涯学習の推進	5	風鈴まつり	(対象) 町民及び近隣住民 (目的・内容) ①町民ボランティアおよび聖籠中学校生徒、週末体験くらぶ参加児童がペットボトル風鈴を作成 ②ペットボトル風鈴制作者、来館者が短冊を記入 ③完成した風鈴を、町民会館プロムナードに展示 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 消耗品礼35千円	講座開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	-	-	-	A	多くの町民を巻き込むことができ500個のペットボトル風鈴を展示することができた。子育て世帯や町内の児童生徒が町民会館へ足を運んでもらうきっかけづくりができた。		[開催状況] 展示期間:6月27日～7月26日
1.生涯学習の推進	6	シニアのためのスマホ講座	(対象) 町内高齢者 (目的・内容) AUショップを運営するテレパーク(株)職員によるスマートフォンの使い方教室 (予算科目) なし (主な経費) なし	講座開催回数(回)	1			参加者数(人)				△			年明けに実施予定
1.生涯学習の推進	7	歴史博物館出前講座	(対象) 町民及び近隣住民 (目的・内容) 県博物館専門職員による歴史の講座 (予算科目) 公民館費 (主な経費) なし	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	15	7	47	B	博物館専門職員からの歴史の講座により町民に最新の成果を紹介することができた。県の事業であることから費用負担はなし。	参加者は少なかったものの、今後も継続予定。	開催日:5月20日(土) テーマ:「考古学から探る女の力」 図書館共催事業
1.生涯学習の推進	8	ちくちくハンドメイド講座	(対象) 就学前乳幼児の保護者、子育て中の主に母親(裁縫初心者) (目的・内容) (目的)こども園や小学校で使えるかばんづくりの支援。 (内容)社会教育課職員を講師として、時期は11月上旬～1月上旬。全4回講座。 (予算科目) 公民館費 (主な経費) 委託料(保育ルーム)60千円	開催回数(回)	6	3	50	延べ参加者数(人)	30	13	43	○	社会教育課職員が講師であることから、最小限の費用で実施できる。	令和2年度まではこども園の通園かばんづくり講座。アンケートでは「自分一人の時間が持てた」「ミシンの使い方や布の切り方等丁寧に教えてもらい自分で作ることができて良かった」との声があったため今後も継続予定。 保育ルーム付のため、入園前の子どもが親から離れる練習にもなっている。	[開催状況] 期日:11月10・17・24日、 12月1日、1月12・19・26日 会場:第2・3会議室 保育ルーム 15名 (※11/30時点の人数)

※11/30時点の開催回

区分	No.	事業名等	内容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1.生涯学習の推進	9	※新規事業 苔玉講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	23	23	100	A	・親子での参加、友人と参加等、幅広い年代の方から参加していただけた。 ・アンケートからも「土に触れる楽しみができました。自分で材料を準備するのは大変なので参加できて良かった」等の声が寄せられていたため、満足度の高い講座であった。	「楽しい時間を過ごすことができ、家に飾って楽しめるのも嬉しい」「このような講座をいっぱいやってほしい」との声があったため、今後も継続してものづくりの講座を行ってきたい。	[開催状況] 期日:令和5年7月9日(日) 会場:多目的ホール 保育ルーム:0名
			(目的・内容)	外部講師1名(園芸療法士)による、苔玉のつくり方、及び管理方法について学ぶ講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)0円(協力で無償)、材料費18千円												
1.生涯学習の推進	10	※新規事業 座禅&写経講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	15	12	80	A	・20代から80代まで幅広い年代の方に参加していただけた。 ・会場がお寺ということもあり、「落ち着いた環境で体験を行えた」と声が寄せられたため、会場設定を含め、満足度の高い講座であった。	会場の雰囲気に対する評価が多く見られたため、講座の内容と開催場所の雰囲気等を踏まえた上で、講座の計画を立てることとする。	[開催状況] 期日:令和5年10月21日(土) 会場:永泉寺 参加予定人数:15人
			(目的・内容)	外部講師1名による、座禅と写経を体験する講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円、材料費20千円												
1.生涯学習の推進	11	千支を描こう!	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	10	12	100	A	町民が事業の講師となっている。小学生からお年寄りまで幅広い年齢層が参加した。	世代間交流の機会にもなり、継続して実施する。	[開催状況] 期日:令和5年11月25日(土) 会場:小ホール 保育ルーム未設定 参加予定人数:12名
			(目的・内容)	外部講師1名による日本画講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円												
1.生涯学習の推進	12	※新規事業 フラワーリースづくり講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	1	1	100	延べ参加者数(人)	20	18	90	A	・親子での参加、友人と参加等、幅広い年代の方から参加していただけた。 ・4人1テーブルでの作業だったため、リース作りを通じた交流が生まれ、和やかな講座となった。 ・アンケートからも「普段家ではなかなかできないので皆でリースづくりができてとても楽しかった」等の声が寄せられていたため、満足度の高い講座であった。	「家の中にいることが多くなりましたが、また色々な講座に参加したい」「クリスマス仕様とお正月仕様の2パターンに着せ替え可能なリースをつくりましたが、これだけの材料を揃えるのは大変なので有難かった」との声があったため、今後も継続して工作の講座を行ってきたい。	[開催状況] 期日:令和5年11月12日(日) 会場:小ホール 保育ルーム:0名
			(目的・内容)	外部講師1名によるフラワーリースづくりの講座												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)7千円、材料費30千円												
1.生涯学習の推進	13	シニア学級 聖山大学	(対象)	60歳以上の町民	期間中授業回数(回)	0	-	-	登録者数(人)	30	-	-	-			参加者が少なかった(4名)ため、単発講座への参加提供にシフトした。
			(目的・内容)	(目的)高齢者に対し学びの機会と高齢者同士の交流の場の提供 (内容)子どもたちとの交流農作業体験、施設見学、体験学習、修学旅行など年間18回程度の事業を実施。定員30人												
			(予算科目)	公民館費	アンケート回答率(%)	0			参加者満足度(%)	-						
			(主な経費)	バス借上料297千円、講師謝礼27千円												
1.生涯学習の推進	14	シニアコーラスはまなす (旧 聖山大学OBコーラス)	(対象)	町内在住の60歳以上のシニア世代	期間中回数(回)	23	21	91	発表会参加・開催(回)	1	1	100	○	高齢者がいきいきと活動する場の提供および同世代との交流のきっかけづくりになっている。	指導者と連携しながら、今後も継続。	令和5年11月18日(土) 聖籠町音楽祭参加
			(目的・内容)	(目的)高齢者に対し学びの機会と高齢者同士の交流の場を提供する。 (内容)合唱指導、音楽祭への出演など												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	講師謝礼217千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1.生涯学習の推進	15	メニュークリスマスツリー	(対象)	町民及び近隣住民	周知回数(回)	2	3	150	ツリー数(本)	60	65	108	A	・町民とともに作りあげるイベントであり、来館者の目を楽ませることもできることから、効果は高いと考える。 ・社会教育だよりでの周知のほか、ラジオでの紹介(ヤン気ましポート)や月刊にいがた、まいぶれ新発田でもイベント紹介として掲載していただいたことから町のイベントとして開催するのは妥当だと考える。	過去に寄付のあったクリスマスツリーも含め、65本のツリーを保管していることから今後も継続すべきと考える	[開催状況] 期日:11月30日~12月25日 ツリー受付期間:11月14日~12月25日 町内企業から廃材の協力あり令和2年度から実施
			(目的・内容)	(目的)コロナにより多くの事業が中止となったが、せめて来館される利用者には少しでも明るい気持ちになってもらいたいと始めた事業。4年目の開催。 (内容)クリスマスツリーの寄付を広く周知し、多くのクリスマスツリーをプロムナードに飾る。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品												
1.生涯学習の推進	16	「文芸せいろ」発行	(対象)	投稿者:町内及び町内関係者	周知回数(回)	4	4	100	投稿作品数(点)	60	71	118	○	子どもから高齢者まで幅広い層から投稿してもらえた。近年、投稿数が毎年減少傾向にあったが、今年は成人式の案内封筒に募集チラシを同封したり、ジャパンサッカーカレッジや敬和学園大学へ作品募集を行ったりと周知に注力した結果、投稿作品数を増やすことができた。	文芸の灯を絶やさぬよう発行を予定	
			(目的・内容)	(目的)町内及び町内関係者に文芸発表の機会を提供する。 (内容)4名で構成される編集委員会を組織し、7月に原稿を募集、10月末を締切。編集者・投稿者による7回程度の校正を経て、3月中に冊子を印刷(部数200)。一冊500円で販売。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	委員謝金40千円、印刷代274千円												
1.生涯学習の推進	17	社会教育委員	(対象)	—	会議開催回数(回)	2	1	50					評価対象外			
			(目的・内容)	(目的)教育委員会に対して社会教育についての助言を行う。 (内容)年2回 社会教育事業の事業計画と進捗状況を報告し、意見を求める。委員14人												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	報酬260千円												
1.生涯学習の推進	18	公民館運営審議会委員	(対象)	—	会議開催回数(回)	2	1	50					評価対象外			
			(目的・内容)	(目的)公民館長の諮問に応じる。 (内容)年2回 公民館事業の事業計画と進捗状況を報告し、意見を求める。委員12人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報酬75千円												
1.生涯学習の推進	19	社会教育だより発行事業	(対象)	町民、関係機関・団体等	一月当たり発行部数(部)	4,700	4,700	100	年間発行部数(部)	57,600	38,400		○	社会教育分野に特化した情報提供ができていないことから、成果及び妥当性は高い。	講座の告知など様々な情報を全世帯に発信できる冊子となっており、今後も継続。	
			(目的・内容)	(目的)町社会教育課教育事業の情報を発信する。 (内容)月1回発行、発行部数4,700部												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	印刷製本費1,072千円												

V 人生100年時代の学び
2 青少年健全育成の推進

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 健全育成体制の充実 IV11	20	週末体験くらぶ	(対象)	小学校1年生～6年生	事業開催数(回)	40	38	95	参加者数(人)	800	435		○	週末の子どもの居場所づくりになっている。	継続して実施していく。	
			(目的・内容)	(目的)週末の子どもの活動場所の確保、体験活動の機会を提供する。 (内容)町公民館を主会場に、毎週土曜日の午前中に子どもたちの体験学習の場、機会を提供する。延べ参加予定者800人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費398千円 消耗品費45千円 バス借上料60千円												
1 健全育成体制の充実	21	わんぱくキャンプ	(対象)	小学校5年生、6年生	周知回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	48	47	98	A	自然の中での体験を通じて、さまざまなことを学ぶことができた。	アンケートを参考に内容の見直しをしながら継続していく。	
			(目的・内容)	(目的)児童の自然体験、三小学校の児童間の交流の場の提供 (内容)青少年宿泊施設等を利用した野外活動体験。沢登、野外炊さんなど。大学生ボランティアや青少年育成員の協力により実施している。												
			(予算科目)													
			(主な経費)	スポネットせいろうへ委託												
1 健全育成体制の充実	22	二十歳を祝う会(旧:成人式)	(対象)	年度末年齢21歳(R2検討委により対象年齢の見直し有)	会議開催回数(回)	2	2	100	参加者数(人)	192	78	41	A	二十歳という節目を迎えるための通過儀礼として妥当性は高いと考える。また、町外に転出した対象者が参加しやすいように、お盆帰省時期の8月に例年実施することで一定数の参加者が確保されているものと推察される。	人生の節目をお祝いするイベントで必要不可欠、県内で廃止した市町村は無い。継続実施。	・R2に教育委員と社教委の対象年齢見直しを含めた検討会を行い、対象年齢を年度末20歳から年度末21歳に変更した。
			(目的・内容)	(目的)ふるさとへの愛着の醸成 (内容)対象者の自発的な式典の企画・立案による式典の実施(実行委員会形式による)。対象者約200人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	消耗品(式典花、記念品等)154千円 アルバム印刷費160千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 健全育成体制の充実	23	青少年健全育成町民会議	(対象)	町の青少年	協力事業数(回)	2		0	協力等参加者数(人)				○			
			(目的・内容)	(目的)青少年健全育成 (内容)「わたしの主張(三市北蒲地区)」 「お正月公民館まつり」の共催、 視察見学・研修会等の開催 「家庭でのメディアコントロール」標語事業(下記参照) 「お正月公民館まつり」は、育成員が従事者として運営に協力している。												
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	補助金196千円												
1 健全育成体制の充実	24	「家庭でのメディアコントロール」標語事業(町民会議事業)	(対象)	町内小・中学校の5年生児童・2年生生徒	生徒へ周知(人)	288	288	100	作品点数(点)	288	186	65	○	青少年の健全育成の対策の1つとして、ネット環境の利用について、家族で話し合い、再検討させることが目的。	令和2年度からの新規事業。 (明るい家庭づくり文集作成事業に替わるもの)。 7月に小学5年生と中学2年生に依頼。とりまとめし11月選考表彰。 今後も継続する予定。	各校の優秀者3名を決め、町民会議役員が各校で表彰を行う。
			(目的・内容)	(目的)子どもたちがメディアやネット依存にならないよう、その使用についての認識を深める活動。 (内容)町内小中学校の児童・生徒に家族で話し合いながらメディアコントロールの標語づくりをお願いする。その後とりまとめ、各校の入賞作品を選定し発表。												
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	町民会議へ支出する町補助金でまかない、参加賞等60千円												
1 健全育成体制の充実	25	青少年育成員	(対象)	町の青少年	事業実施数(回)	2	4	200	育成員数(人)				○			
			(目的・内容)	(目的)青少年健全育成 (内容)有害図書等環境に係る実態調査、「わんぱくキャンプ」「お正月公民館まつり」などへの人的協力(公民館との共催事業)。子ども110番看板メンテナンス事業。委員数21人												
			(予算科目)	青少年問題協議会費												
			(主な経費)	報償347千円 旅費21千円												
青少年健全育成事業 I 11	26	町PTA連絡協議会補助金	(目的・内容)	(目的)保護者組織への支援 (内容)協議会事業(町P連だより発行等)への活動費助成	町P講演会開催数(回)	1	1	100	参加者数(人)				○	学校と保護者が一体となり、よりよい教育環境の提供を行うため、事業費補助をおこなっている。講演会開催、たより発行の一部に補助されており、PTA連絡協議会の活動を支援している。	講演会の開催及び機関紙の発行など、家庭と地域をつなぐ活動を展開している。	活動中
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	補助金140千円												
青少年健全育成事業 I 11	27	地域青少年健全育成活動補助金	(目的・内容)	(目的)育成会等の支援 (内容)集落の育成会や子ども会への活動費助成	イベント活動回数(回)総数	30	44	147	団体数(団体)	20	19	95	○			
			(予算科目)	青少年問題協議会費		↑前年度実績				(R5.11現在)						
			(主な経費)	補助金621千円												

V 人生100年時代の学び
3 文化の振興

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率					
1 文化の創造・遺産の保存 I 11	28	小学校鑑賞事業	(対象)	小学校児童	開催回数(回)	1	1	100	延べ入場者数	904	886	98	A	文化の振興、文化体験の機会提供に資するものである。	学校と連携しながら引き続き実施していく。	期日: 令和5年7月6日(木) 会場: 町文化会館 演目: 『オズの魔法使い』 蓮野小 246 山倉小 310 亀代小 330
			(目的・内容)	(目的)舞台芸術の鑑賞機会を提供し、児童の情操教育に資する。 (内容)町内三小学校の教務主任と協議の上、演目を選定(対象者約775人)。												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	自主事業費(公演料)990千円、送迎バス借上料122円												
1 文化の創造・遺産の保存 I 11	29	中学校鑑賞事業	(対象)	中学校生徒	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	394	377	95	A	文化の振興、文化体験の機会提供に資するものである。	学校と連携しながら引き続き実施していく。	期日: 令和5年6月1日(木) 会場: 町文化会館 演目: 『ベニスの商人』
			(目的・内容)	(目的)舞台芸術の鑑賞機会を提供し、情操教育に資する。 (内容)中学校と協議の上、演目を選定する。(対象者386人)												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	自主事業費(公演料)900千円												
1 文化の創造・遺産の保存	30	せいろう少年少女合唱団	(対象)	原則町内小中学生(一部町外加入者あり)	団員募集広報(回)	10	18	180	団員数(人)	15	12	80	O	新発田市文化会館での合同発表会に参加した。今年は、新たに聖籠緑地や新発田市役所でのイベントに参加し合唱の機会が得られた。合唱団の活動周知、新規団員募集の呼びかけを行うことができた。	団員が減少傾向にあるため、新規団員の獲得に重点を置く。	12月に、朱鷺メッセにて開催する「にいがた環境フェスティバル」、2月にりゅーとびあで開催の「にいがた・ジュニアコーラスフェスティバル」に参加予定。
			(目的・内容)	(目的)専門指導者の合唱指導による技術の習得、団員同士の交流、近隣市町の合唱団との交流、町の文化活動の担い手を育成する。 (内容)週1回(木曜日)公民館で練習、近隣市町で行われる発表会への参加など。												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費583千円、役務費(保険料)2千円												
1 文化の創造・遺産の保存	31	文化祭(ふるさと芸能歌謡祭)	(対象)	町文化団体・サークル及び町民	来場者数(人)	2,000	1,885	94	アンケートに基づく満足度(%)	70	46	66	B	文化系団体の作品展示による創作意欲の向上につながったものと考えられる。見学者からも「すばらしかった」等の評価する声も多かった。4年ぶりの茶会開催。高齢化により作品数や参加者数が減っている。	基本的には同様に行う(内容については次年度の文化祭実行委員会の決定事項となる)。	11月3・4日の2日開催
			(目的・内容)	(目的)文化団体・サークルの発表の場の提供。町民の鑑賞機会の提供 (内容)絵画・写真・生け花等の作品展示、茶会、囲碁・将棋大会、芸能歌謡祭など。	文化祭出品点数(点)	500	437	87	※満足10、どちらとも6、未記入7							
				歌謡祭観客数(人)	710	268	38									
			(予算科目)	公民館費、文化会館費	アンケート回答数	100	22	22								
			(主な経費)	委託料450千円、消耗品160千円等	回答率(%)	5.0	1.2	23								

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 文化の創造・遺産の保存	32	町音楽祭	(対象)	合唱・吹奏楽団体、その他音楽愛好者(主にアコースティック)	出演者・団体数(組)	10	10	100	観客数	300	250	80	B	参加・関係団体の高齢化及び固定化が進む。	今後も継続して行う予定。	[開催状況] 期日:令和5年11月19日(土) 会場:町文化会館
			(目的・内容)	(目的)練習成果を発表する機会の提供 (内容)広報誌を利用して出演者を募り、文化会館で発表会を行う。												
			(予算科目)	文化会館費	アンケート回答率(%)	10	8	80	アンケートに基づく満足度(%)	今後実施予定						
			(主な経費)	消耗品費(プログラム作成用紙)、ピアノ調律手数料20千円												
1 文化の創造・遺産の保存 V11	33	「みんなで歌おう会」講座	(対象)	町民及び近隣住民	講座開催回数(回)	12	12	100	延べ参加者数(人)	300	360	120	O	講師及び役員が中心となり、主体的に会を運営している。	将来的には自立した会として運営をしてもらう方向としたい。	[開催状況] 4月から3月(月1回) 全12回
			(目的・内容)	(目的)合唱を学ぶ機会の提供、サークル化への育成支援 (内容)講師による講座を月1回開催、発表の機会提供(町音楽祭など) 登録参加予定者70人												
			(予算科目)	公民館費												
			(主な経費)	報償費(講師への謝礼)182千円												
1 文化の創造・遺産の保存 V11	33	自主事業はまなす寄席	(対象)	一般	開催回数(回)	1	1	100	入場者(人)	500	511	102	A	多くの来場者にステージを楽しんでもらうことができた。	内容を検討しながら、今後も継続。	[開催状況] 9月3日(日)
			(目的・内容)	(目的)芸術文化に触れる機会の提供 (内容)落語やお笑いステージ												
			(予算科目)	文化会館費												
			(主な経費)	委託料5,000千円												
1 文化の創造・遺産の保存 I22	34	お正月公民館まつり	(対象)	幼児～小中学生、幼児や小学生の保護者	周知回数(回)	2	2	100	参加者数(人)	200			O			R6.1.8実施予定
			(目的・内容)	(目的)子どもと大人の昔の遊びを通したふれあいの機会を提供する。 (内容)毎年1月上旬に開催。町民会館を会場に、射的・お手玉づくり、かるた・羽子板・メンコ・コマ、駄菓子屋、カルメ焼き、綿菓子などのブースを設営。青少年健全育成町民会議、町女性団体と共催。												
			(予算科目)	公民館費	アンケート回答者数(%)	20	12.0	60	参加者満足度(%)							
			(主な経費)	謝金79千円、消耗品28千円、食料費71千円、備品借上30千円 計208千円												

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率	指標名	計画	実績	達成率				
1 文化の創造・遺産の保存	35	文化財保護事業	(対象)	文化財	周知回数(回)	12	12	100	文化財周知状況満足度(審議会委員)				○			
			(目的・内容)	(目的)町有形・無形文化財の保護 (内容)町文化財の指定、保護管理の奨励、文化財調査審議会の開催、広報誌を通じた普及啓発、古民家の調査等 町指定文化財所有者に対する適正維持管理を奨励するための補助金(有形37,000円、無形46,000円) (参考)町指定文化財数:建造物4点、工芸絵画等12点、民俗2点 史跡記念物3点												
			(予算科目)	文化財保護費	現場調査回数(回)	40	30	75	文化財欠損・破損数(件)							
			(主な経費)	審議会委員報酬 97千円 根上松管理委託料 770千円 文化財維持管理補助金(4件)157千円												
1 文化の創造・遺産の保存	36	埋蔵文化財保護事業	(対象)	埋蔵文化財	埋蔵文化財保護状況(%)	100	100	100	調査未実施による文化財の破損件数(件)	0	0		評価対象外			
			(目的・内容)	(目的)文化財保護法に基づく保護 (内容)開発前に遺跡の有無を確認。ない場合でも状況により試掘調査を行う。ある場合は工法により協議を行い調整する。開発により遺跡が保護されない場合は発掘調査を行う。	(調査実施件数/要調査件数)											
			(予算科目)	文化財保護費	現場調査回数(回)	20	15	75								
			(主な経費)	賃金5,683千円、委託料5,274千円、借上料1,497千円												
1 文化の創造・遺産の保存	37	歴史文化啓発事業(小中学生対象) ↓ 〈新規〉ふるさとだいき講座	(対象)	町内の小中学生	出前授業実施回数(回)資料館含	3	3	100	延べ参加者数(資料館含む、人)			○				
			(目的・内容)	(目的)生徒・児童に町の歴史や文化について学んでもらう。 (内容)学芸員が小中学校に出向き、町史編さんでまとめた町の歴史や、町で出土した土器を持ち込み、授業を行う。その他、民俗資料館の説明解説も行う。												
			(予算科目)	文化財保護費	アンケート回収率(%)	90	95	106	アンケートに基づく満足度(%)							
			(主な経費)	なし												